

# 主な取り組み内容

## 確かな学力の定着

### 先導的授業実践の普及

授業改善推進教師などによる授業公開を行い、新学習指導要領で求められる授業づくりの普及を図ります。



### 「読書大好き・苦小牧っ子」事業

親子読書の推進、中央図書館との連携、教科指導における図書館利用の励行などを通して、児童生徒の読書量を増やします。



## ICT※を利用した学習環境整備

児童生徒が興味や関心を持って「主体的な学び」「対話的な学び」ができる学習活動の充実を図ります。タブレット端末の導入や普通教室へのWi-Fi環境整備を実施します。  
※情報通信技術



## コミュニティ・スクールの推進

地域に開かれた学校から、地域と共にある学校として、目指す子ども像を共有しながら、地域全体で子どもたちを育てていく体制構築を進めています。今年度からは、モデル地区を勇払中学校区に加え、開成中学校区にも拡大しています。



## 苦小牧オール9

中学校区を一つのエリアとし、義務教育9年間で育む「共通の目指す子ども像」を設定し、小・中学校が一致・一貫・連携した取り組みを進めます。



## いじめ・不登校対策

未然防止を図るとともに、早期の発見・解決に向けた関係機関との連携を進めます。



## 新たな教育への対応

小学校外国語の教科化に向け、外国語指導助手（ALT）と外国語の授業改善研究委員が協力して、外国語の指導に関する研修を実施するなど、指導内容の充実を図ります。



## 安全安心な施設環境整備

苦小牧東小学校、苦小牧東中学校など7校の改築事業や、小・中学校トイレ洋式化事業などにより、子どもたちの学習環境向上に努めます。



## 家庭教育に関する情報発信

大切な情報を家庭と共有するため、家庭教育情報紙「ほ・む・す・く」を発行しています。また、PTA連合会と協力して作成した情報機器「利用の約束」の啓発を進めます。



## 学校の働き方改革

教員の多忙化が社会問題になる中、苦小牧市においても学校現場のこれまでの働き方を見直します。教員が子どもたちと向き合う時間を確保するとともに、業務の質を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行い教育の質を高めるとい、働き方改革の目指す理念を踏まえ、取り組みを実行します。

## 生涯学習の充実

樽前アートスクール事業など、一流の文化芸術に学び、触れる機会の充実を図ります。



## 未来の社会をつくるひとづくり

教育に関する市の基本方針である「苦小牧市教育大綱」を改定しました。

教育の目的である「ひとづくり」の理念は決して変わるものではなく、子どもたちの命を守り、豊かな心を育てる取り組みをより一層大切にしていきます。

同時に、新しい時代、社会の変化に対応できる「生きる力」を身に付けるための環境整備も行います。

教育に関する市の方針や取り組み内容を市民の皆さまにも知っていただき、ともに「苦小牧の未来をつくるひとづくり」を進めていきたいと思います。



いがらし みつる  
教育長 五十嵐 充